

ドングリ苗の植え替えイベント実施報告
＜野草と樹木の観察、ドングリ苗の植え替え、木の工作＞

- 1 日時：平成26年5月18日（日）9：30～14：30
- 2 場所：浜松市佐鳴湖公園西岸と北岸管理棟
- 3 参加者：29人（子ども15人、大人14人）
- 4 参加インストラクター：岩崎、内山、大澤、広野（幹事）、藤田（主幹事）
- 5 実施概要
 - (1) 好天・新緑の中、定刻の10時、佐鳴湖西岸ひょうたん池の時計塔前の広場を、「見つけた草や木の名前を○で囲もう！」のパンフレットとインストラクター手作りの自然木の鉛筆を持って、「佐鳴湖の草と木の探検！」に出発。
 - (2) パンフレットは、草15種類（イ、オオバコ、キツネノボタン、コバンソウ、カタバミ、ギシギシ、シロツメクサ、スイバ、タンポポ、ニワゼキショウ、ハルジオン、ホタルブクロ、ヘラオオバコ、ムラサキカタバミ、ヤエムグラ）、木15種類（アカメガシワ、イチョウ、イロハカエデ、ウバメガシ、エゴノキ、カシノキ（シラカシ）、クスノキ、コナラ、サンゴジュ、シイノキ（スダジイ）、スイカズラ、ノイバラ、メタセコイア、ヤマモモ、ヤシャブシ）、計30種類の写真をA3判の用紙に両面印刷したもの。
 - (3) 途中、シラカシ・コナラ・ウバメガシ・スダジイの木のところでは、「今年の秋、ここでドングリ拾いをしたんだよ」と説明。参加者のうち約半数は去年も参加した人で、今度は、初めて見る生まれたばかりの赤ちゃんドングリに歓声。
 - (4) 出発後、約50分の所でUターン、往路では見落とした草や木を発見したり、往路で見たものを再確認したりして、1時間半でもとの時計塔へ。
 - (5) 11時半からメインイベントの「ドングリ苗の植え替え」。シラカシ・コナラ・ウバメガシをそれぞれ18本ずつ計54本と、去年のドングリ拾いイベントに参加した人が持参した16本、合わせて70本の苗木の植え替えを実施。
 - (6) 午後は、会場を北岸管理棟に移し、最初に「ドングリのことをもっと知ろう（Ⅱ）ードングリの一生ー」のパンフレットを使って、花からドングリになり熟して地面に落ちるまでの成長の過程と、落ちたドングリが芽をだし、苗木になるまでの過程を説明。
 - (7) その後、木の工作「クマさんのペン立てづくり」を行って、予定どおり14時30分、イベントを終了した。

なお、このイベントは、「公益信託しずぎんふるさと環境保全基金」の助成を受けて行いました。

（報告者：藤田久男）

<写真1>



好天のもと、佐鳴湖湖畔の新緑の中で、
野草・樹木の観察

<写真2>



「見つけた草や木の名前を○で囲もう！」のパンフレットとインストラクター手作りの自然木の鉛筆を持って、「佐鳴湖の草と木の探検！」に出発

<写真3>



昨年の秋のイベントでドングリ拾い
をした場所で、今度は、生まれたばかりの
赤ちゃんドングリに歓声

< 写真 4 >



コナラ・ウバメガシ・シラカシの苗木
70本を植え替え

< 写真 5 >



植え替え前のポット（右側）
（直径10cmポットに2～3本）

植え替え後のポット（左側）
（直径12cmポットに1本）
左から、コナラ、シラカシ、ウバメガシ

< 写真 6 >



場所を北岸管理棟に移して、「ドンダリの一生」のお話と、木の工作「クマさんのペン立てづくり」。

以上